

食肉通信

発行所
株式会社食肉通信社
大阪市西区西本町 3-1-48
西本町ビル 〒550-0005
TEL(06)6538-5505 FAX(06)6538-5510
振替口座 00900-1-59742
東京支社 東京都中央区日本橋小伝馬町
18-1 八二一小伝馬町ビル 〒103-0001
TEL(03)3663-2011 FAX(03)3663-2015
九州支局 福岡市博多区古門戸町
3-12 やま利ビル 〒812-0029
TEL(092)271-7816 FAX(092)291-2995
株式会社食肉通信社 2024

2024年(令和6年)5月28日

食肉通信

植村会長ら再任する

総会 石垣牛流通協が開催

石垣牛流通協議会(植村光一郎会長)は5月17日、東京都千代田区の日野、東京都千代田区の日野道府県会館で2024年度総会を開催。23年度事業報告、24年度事業計画および収支予算など上程全議案を承認した。24年度も石垣牛の積極的な啓発活動の実施や地産地消支援事業参加、さらにSDGsの研究会への参加などを計画している。役員改選では植村会長らに再任した。

植村会長は「前期は出荷頭数1千頭を目標に掲げたが、行政や関係団体など、多くの皆さまから支援を受け、産地でも増頭に向けて生産意欲が高まってきた。増頭については、これまでなかなかうまくいかなかったのだが、ようやく軌道に乗ってきており、今では増頭への機運が高まっている」

「これまででは出荷頭数の問題で販売を待っていた。ただ、このような状況もあったが、胸を張って石垣牛を使っていたら、こうなってきたように、自信を持って石垣牛の販売促進に精いっぱい注力していきたい」

「1千頭といわず、将来的には1500頭、さらに2千頭まで出荷頭数を増やしていきたい。海外市場へのグローバル戦略に向けても販売を推進していきたい。これには皆さまの力添えが必要だ」と呼びかけた。



役員改選などを行った石垣牛流通協の総会

また、植村会長は「最終目標はフードチェーンの構築だ。まずは石垣牛のおいしさを知ってもらい、その次にやること

は、石垣牛のおいしさの理由について消費者の方々に理解していただくこと。さらにその次には、生産工程の優位性を知らしめていきたい」

「そしてもう一つは、消費者の購買活動がいかに優良な農畜産物の生産基地応援になるかを消費者に理解していただき、しっかりとしたフードチェーンを構築していく。これが最終的な石垣牛のブランディングの目標だと考えている」

「日本で実現した暁には、グローバルな形で世界に向けても発信し、石垣牛の素晴らしさを全世界の方がたに知っていただきたいと考えている。そのためにも、ぜひ生産者の皆さまには1頭でも

多く石垣牛を生産していただきたいし、私たちがそれに対しては、いかなる努力も惜しまないつもりだ」と呼びかけた。

来賓からは石垣市の中山義隆市長(代読)、JAおきなわの前田典男代表理事理事長、農畜産業振興機構の天羽隆理理事長、中央畜産会の姫田尚副会長、全国肉牛事業協同組合の中林正悦理事長がそれぞれの立場方から祝辞を述べた。

また、総会終了後には、日本食肉格付協会的小林淳二専務理事が「牛枝肉・部分肉取引規格の解説」と題し、記念講演を行った。さらにその後は場所を移し、生産者と関係者による交流会が開かれた。